

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-2-3	事業名	ウィンタースポーツ振興事業				
担当	観光文化局スポーツ部企画事業課 大井 Tel 211-3044						
全体計画							
事業内容	低迷傾向が見られるウィンタースポーツの活性化を図るため、以下の事業を実施する。			<年度別の事業内容>			
	<p>1 ウィンタースポーツ体験キャンペーン 学識者や民間の組織・団体との連携により「ウィンタースポーツ活性化推進協議会」を設置して新たな普及啓発事業を企画し、「ウィンタースポーツ体験キャンペーン」として展開する。</p> <p>2 学校教育と連携したウィンタースポーツの普及啓発 小中学校ウィンタースポーツ体験支援事業を展開する。</p> <p>3 冬季五輪、ノルディックスキー世界選手権のメモリアル活用 各種記念行事を開催する。</p> <p>4 札幌ウィンタースポーツアカデミーの開設 札幌出身のトップ選手輩出を目指して、ジュニア育成体制を整備する。</p> <p>5 ウィンタースポーツの調査・研究の推進 普及状況、社会環境の変化に対応した振興方策に関する調査研究を継続する。</p>			<p>平成19年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィンタースポーツ活性化推進協議会開催 小中学校ウィンタースポーツ体験支援事業 ウィンタースポーツの調査研究 <p>平成20年度～22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィンタースポーツ活性化推進協議会開催 ウィンタースポーツ体験キャンペーン実施 小中学校ウィンタースポーツ体験支援事業 札幌ウィンタースポーツアカデミー企画・調査 ウィンタースポーツの調査研究 			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<p>1 小中学校ウィンタースポーツ体験支援事業</p> <p>(1)札幌市立中学校保健体育科スキー授業支援事業 (財)札幌スキー連盟及びスキー場を運営する10社との協働により24校の授業に外部指導者を派遣し支援を行った。</p> <p>(2)歩くスキー出前授業モデル事業 (財)さっぽろ健康スポーツ財団に業務委託し2つの事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「冬季宿泊学習における歩くスキー出前授業」 滝野の宿泊学習で歩くスキー体験学習を行う小学校4校を対象に外部指導者を派遣し滑走法の実技指導を行った。 「学校における歩くスキー出前授業」 学校の敷地内で歩くスキー体験学習を行う小中学校各1校を対象にスキー用具貸出や外部指導者による実技指導を行った。 <p>2 ウィンタースポーツ活性化推進協議会開催準備 協議会の組織化に向けて、「ウィンタースポーツの活性化」をテーマに複数の冬季スポーツ競技団体と個別に意見交換会を実施した。</p> <p>3 ウィンタースポーツ啓発イベントの開催 雪遊び・ウィンタースポーツの体験イベント「ウィンタースポーツフェスティバル2008inつどーむ」を雪まつり協賛行事として開催し、延べ1,200人の来場があった。</p>			<p>1 ウィンタースポーツ活性化推進協議会開催 学識者や民間の組織・団体・企業との連携によりウィンタースポーツ人口拡大を目指すための事業企画等を行う。</p> <p>2 ウィンタースポーツ体験キャンペーン事業 活性化推進協議会で企画した普及啓発事業を行う。</p> <p>3 小中学校ウィンタースポーツ体験支援事業 中学校、高校のスキー授業へのインストラクター派遣、小中学生を対象とする歩くスキー体験事業を行う。</p> <p>4 インフォメーションサービス事業 インターネットでウィンタースポーツの情報をわかりやすく提供するため、スポーツ部ホームページの内容の充実を図る。</p> <p>5 競技力向上システムに関する調査研究 ウィンタースポーツのトップ選手を育成するシステムについて先行事例の視察調査や研究を行う。</p> <p>6 ウィンタースポーツ地域出前事業 公園や学校のグラウンドなど身近な場所を会場にウィンタースポーツの体験会を開催する。</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
ウィンタースポーツをする人の割合		13%	13%	14%	16%	18%	20%
ウィンタースポーツ体験事業数		2事業	4事業	6事業	10事業	15事業	20事業
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 事業の参加者にアンケート調査を実施し、感想や意見を聞き取ることにより市民ニーズの把握、事業効果の検証に役立っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 学校支援事業、啓発イベントの実施においては、企業から資金協力を得ている。 [人材協力] 学校支援事業、啓発イベントの実施においては、関係団体・企業から指導者派遣等の協力を得ている。 [情報協力] ウィンタースポーツ振興に携わる組織・団体との情報交換を行い、事業のアイデアやノウハウを活用している。 [その他の協力] ウィンタースポーツ振興に携わる組織・団体とのネットワークづくりを行い、連携体制の構築に努めている。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市民や企業の目線からウィンタースポーツの普及振興を図る事業の企画を行う。また、そのことにより関係者が一丸となってウィンタースポーツを盛り上げる機運が生まれることが期待される。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-2-3	事業名	ウィンタースポーツ振興事業				
評価(成果)		課題					
<p>・札幌市立中学校保健体育科スキー授業支援事業では関係団体や企業との協働により、支援校の授業の充実に寄与することができた。</p> <p>・歩くスキー出前授業モデル事業では出前型事業の有効性や子どもをターゲットとする普及事業の重要性を確認すると共に、事業実施のノウハウを得ることができた。また、実施校の体験学習の充実に寄与することができた。</p> <p>・ウィンタースポーツ活性化推進協議会の組織化や関係団体との連携体制構築に向けて、札幌市体育協会に加盟する冬季スポーツ競技団体と個別に意見交換会を実施し、各競技の普及状況や振興方策、ウィンタースポーツの活性化を図るためのアイデアなど幅広い話題に関してディスカッションを行い、振興の方向性について共通理解を図ることができた。</p> <p>・「ウィンタースポーツフェスティバル2008inつどーむ」では来場した子ども達や親子に対して、雪遊びやウィンタースポーツを楽しむ機会を提供し、冬の外遊びの魅力を伝えることができた。</p>		<p>・活動人口が伸び悩むウィンタースポーツの活性化を図るためには長期的な視野をもって、継続的に普及振興に取り組む必要がある。</p> <p>・より一層、事業の効果を上げるために、学識者や関係する組織・団体・企業と連携を図りながら事業を展開していく必要がある。</p> <p>・事業の実施効果の検証、ウィンタースポーツ普及状況の把握を着実に行い、市民ニーズや社会情勢、普及状況の変化に対応した振興方策を企画・展開する必要がある。</p>					
今後の事業の予定・方向							
<p>・ノルディック大会の剰余金を活用し、概ね10年程度の見通しで事業を推進する予定である。事業の進捗状況や成果についての検証、ウィンタースポーツの普及状況に応じて事業内容の見直しを行いながら、「ウィンタースポーツのライフスタイル化」、「札幌らしいスポーツ文化の継承」、「さっぽろブランドとしての魅力の向上」を目標として、その達成を目指す取り組みを行う。</p> <p>・当面はウィンタースポーツの体験機会充実に重点を置き、より多くの市民が雪遊びなどのレクリエーションをも含めたウィンタースポーツを身近に気軽に楽しむことができる環境を整え、活動人口の拡大を図る。</p> <p>・ウィンタースポーツのライフスタイル化に向けては、長期的な視野をもって取り組む必要があるため、運動・スポーツに親しむ習慣を形成する時期にある「子ども」を主なターゲットとし、冬の外遊びやウィンタースポーツを積極的にを行う子どもを育成することにより、生涯にわたってウィンタースポーツに親しむ習慣づくりを行う。</p> <p>・事業の実施にあたっては、学識者や関係する組織・団体・企業と連携を図り、効率的かつ効果的な事業推進に努めると共に、ウィンタースポーツの関係者が一丸となってウィンタースポーツを盛り上げていく機運を醸成する。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	1,800	2,700	2,700	2,800	10,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,800	2,700	2,700	2,800	10,000
予算	事業費	1,800	12,600	-	-	14,400	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	12,600			12,600
		一般財源	1,800	0			1,800
実績	事業費	2,376	-	-	-	2,376	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	2,376				2,376
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				149.8%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) ノルディックスキー世界選手権大会の剰余金を本事業で活用することとなったため、平成20年度より予算を増額し事業内容の拡充を図り、概ね10年程度の見通しで事業を推進することとした。</p> <p>[19年度] 当初計画になかった「ウィンタースポーツフェスティバル2008inつどーむ」を雪まつり協賛行事として実施したため、事業費が予算を上回った。予算との差額は部内の経常費から充当した。</p> <p>[20年度] 予算の増額に伴い事業内容の拡充を図ることとした。</p>							